

## 六甲山大学開校1周年 記念文化祭に 親子連れ500人



巨大なブロックパズル「ジエンガ」を楽しむ子どもたち。神戸市灘区青谷町2、神戸海星女子学院大学（撮影・後藤亮平）

の役割や人との結びつきの大切さを学ぶ舞台にと、昨年10月に開校。「授業」として、夜景体感ツアーや雪のハイキング、森の中のあじさい散策など約640のイベントを情報発信してきた。

文化祭は六甲山大学実行委員会が主催し、「授業」を受け持つ団体が活動を紹介。懐かしい写真で山の歴史をたどる展示や、高取山で楽しまれている投輪のワークショップ、摩耶山天上寺の僧侶による密教の座禅体験、木材を使ったおもちゃコーナーなどがあった。

家族で訪れた同市兵庫区の幼稚園職員秦陽子さん(37)は「六甲山は身近で、子どもたちも大好き。山のイベントにも参加してみたい」。実行委の大武圭介委員長は「1年で市民や団体に認知されてきた。自主事業を増やし、大学の求心力を高めてゆきたい」と話した。(武藤邦生)

六甲山系などで開かれる催しをカリキュラムに見立てた「六甲山」の開校1周年記念イベント「六甲山学文化祭」が6日、神戸市灘区の神戸海星女子学院大学であり、約500人が多彩なワークショップや展示などを楽しんだ。

六甲山大学は、自然